

# 国労フクシマ

# 国労水戸

国労水戸地方本部  
 水戸市中央1-1-11  
 ENYビル2F  
 029-221-4008  
 発行責任者 久保田重明  
 編集責任者 坂下 司

## 復興はまだまだ！

11月23日～24日、第7回国労フクシマ交流・視察学習会が開催した。

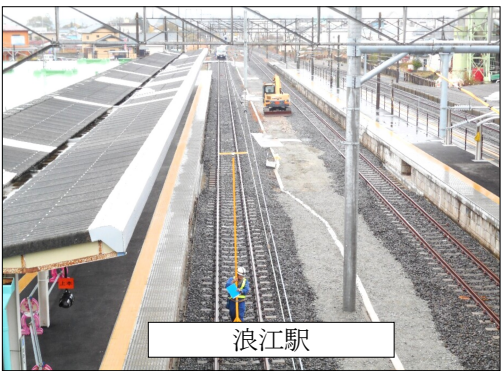
1日目は、現在運転を見合わせている富岡駅～浪江駅間の常磐線復旧状況の現地視察を行った。

2日目は郡山市において交流学習会を開催した。

来年3月末までに常磐線全線運転再開を目指して進められている復旧対策の状況を視察しながら、福島第一原発事故の教訓を風化させず、職場地域に広めていくため国労フクシマを取り

組んでいる。帰還困難区域の浪江駅、夜の森駅、Jヴィレッジ駅を現地視察した。浪江駅前にはいくつかの店舗も開き、駅周辺には帰還してきた雰囲気もあるが、まだ人の姿は数人しか見受けられなかった。夜の森駅では駅舎の建て替え工事が行われていた。沿線は除染がまだ進んで

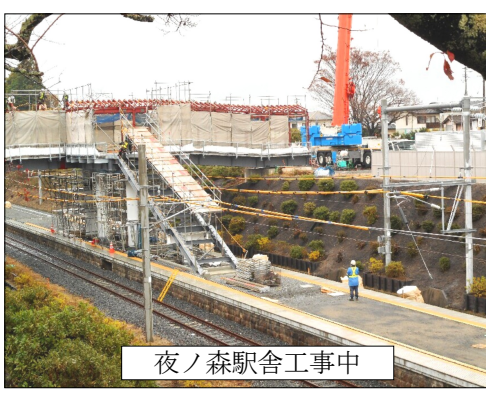
一人でも残す  
 国労へ相談。  
 みんなを楽しく  
 がんばろう！



浪江駅

いなく、避難区域の双葉町、大熊町の一部地域では道路封鎖が続いている。今年の4月に開業したJヴィレッジ駅では、工事の途中でした。線路と駅舎の高低差があり、イベント時の移動が大変そうでした。台風・大雨が心配である。2日目の午前中、交流学習会を開催し、佐藤書記長から、現地視察を行って、復興の道のりは長いと感じた。メディアで伝えない情

2020年国労地本旗開き  
 とき 2020年1月11日 (土)  
 場所 水戸京成ホテル



夜ノ森駅舎工事中

報、目で見て感じたことを広めていくと挨拶した。「常磐線全線運転再開に向けた交渉経過と取り組み」について、除染作業員が行う、放射線被ばくを低減することを目的とした除染電離則について泉執行委員が報告した。久保田委員長が事故が無かったことにしない、風化させないと閉会挨拶をした。



Jヴィレッジ駅



Jヴィレッジ駅舎からホームへ